



松ヶ崎だより

第2回
学校評価特集号

京都市左京区松ヶ崎堀町 40
TEL.075(781)3380 / FAX.075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>

家

令和 2 年 3 月 4 日
京都市立松ヶ崎小学校
校長 北川 知世

子どもを共に育む
京都市民憲章



振り返りを次につなげて

第2回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本号では、アンケートの結果と、結果をもとにした振り返りについてダイジェストでお伝えします。

＜アンケート調査の概要＞

対象	調査期間	対象数	集計数
保護者	11月25日(月)～29日(金)	333名	304名(91.3%)
子ども	12月2日(月)～6日(金)	333名	323名(97.0%)

＜アンケート結果をもとにした振り返りの流れについて＞

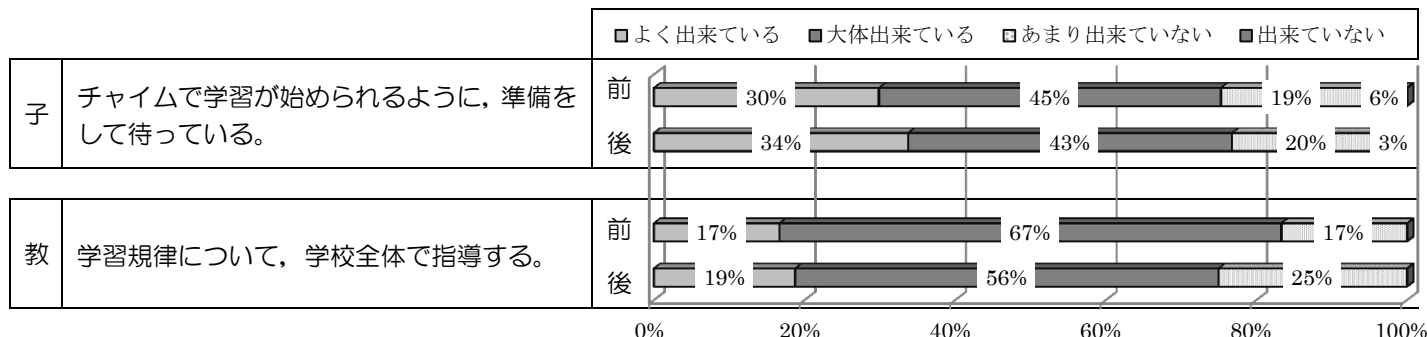
第2回のアンケート結果をもとに、2学期の取組について教職員による振り返りを行いました。

振り返りは、①「よかったこと・今後も続けたいこと」「困ったこと・問題点」の共有、②強化、改善するために今後試してみたいことの共有、③優先順位の高いもの&実施するものの決定、④役割分担と実施期限の決定 という手順で行いました。

＜ダイジェスト版の見方＞

2学期に重点的に取り組んだ内容について、アンケート結果と振り返りを示しています。紙幅の都合で掲載できなかったアンケートの結果についても、ホームページ上に公表する予定です。(前…第1回の結果、後…第2回の結果、保…保護者、子…子ども、教…教職員 を表しています)

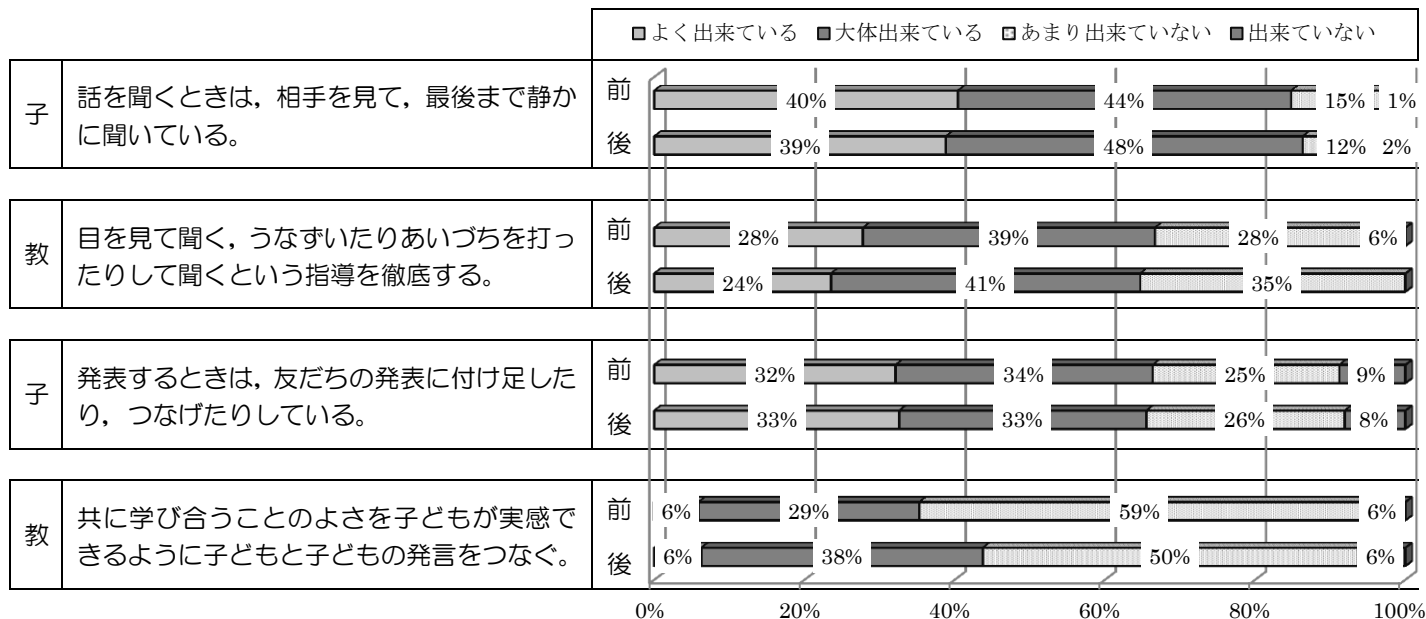
ルールの定着・学び合いの基盤となる学習規律



＜よかったこと・続けていきたいこと (○) / 困ったこと・問題点 (●) / 今後試していくこと (□)＞

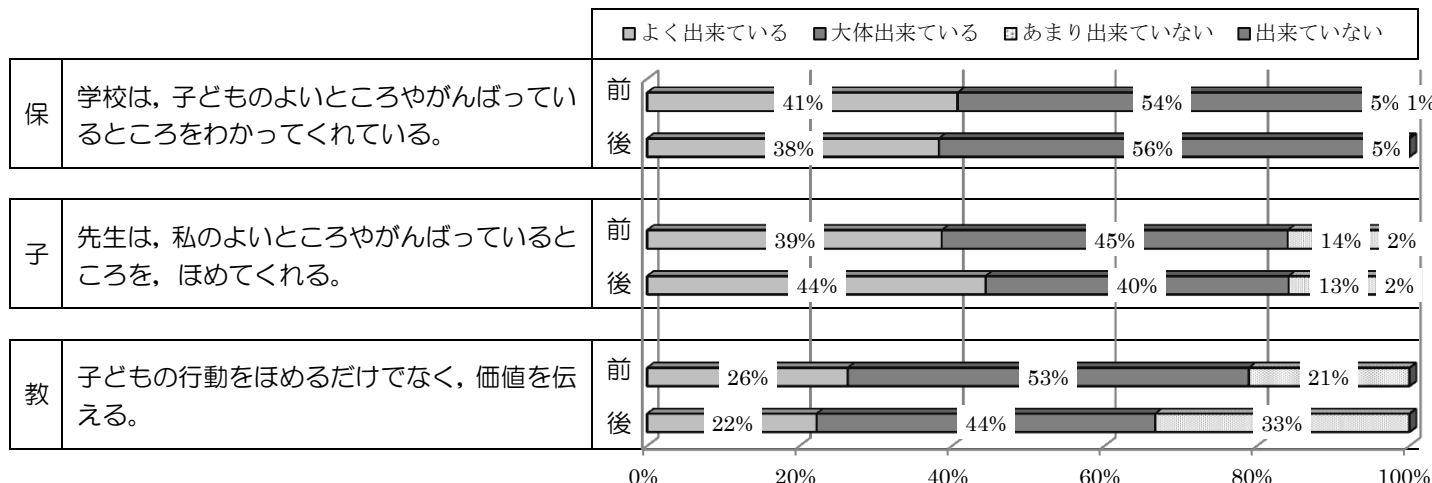
- ルールや時間を守ることを徹底する中で、「きちんとしなくちゃ」と思う子が増えてきた。
- ルールや時間を守っている子のがんばりが認められるように、時間になったら授業を始め、時間になったら授業を終わるようにしてきた。また、ルールや時間を守っている子を確認、ほめ続けるようにしてきた。
- チャイムと同時に授業を始めることができなかった学級もある。
- どの学級でも、時間を守っている子をほめるとともに、チャイムがなったらすぐに授業を始めるようにする。

子ども同士の発言がにつながる授業



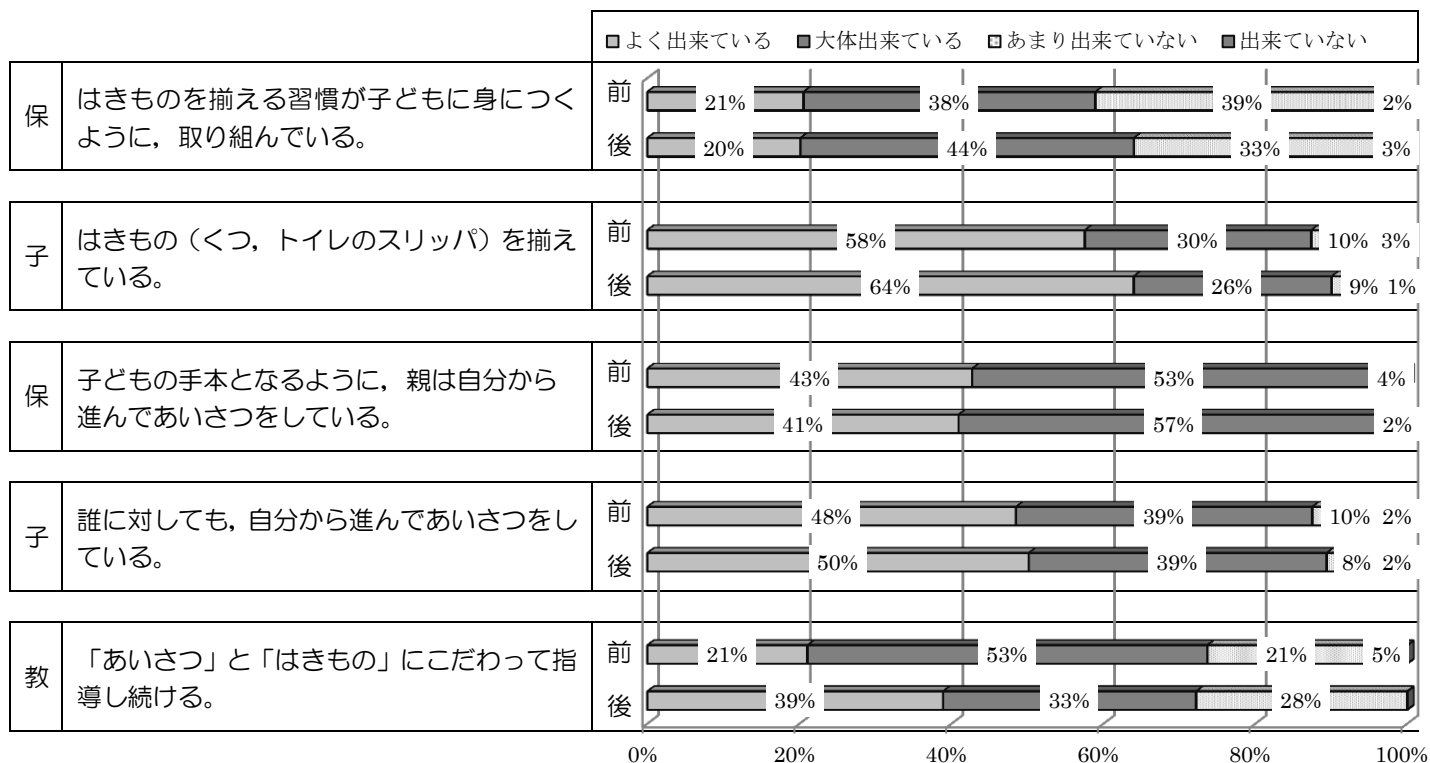
- <よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>
- 発言の型を示すと、「～さんに付け足して・・・です。」「～さんとちがって・・・です。」「私は～です。どうしてかという、・・・からです。」等の話型を使って子どもが発言し、子ども同士の考えもつながるようになってきた。
 - 「全員の机を黒板に向ける」「グループで机を合わせる」以外にも、「コの字にする」「口の字にする」「扇形のようにする」「全員が教室の中央を向く」など、学習内容や活動に応じて机の配置を変えたことで、子ども達の中で、相手意識が高まってきた。

子どもの行動への価値づけ



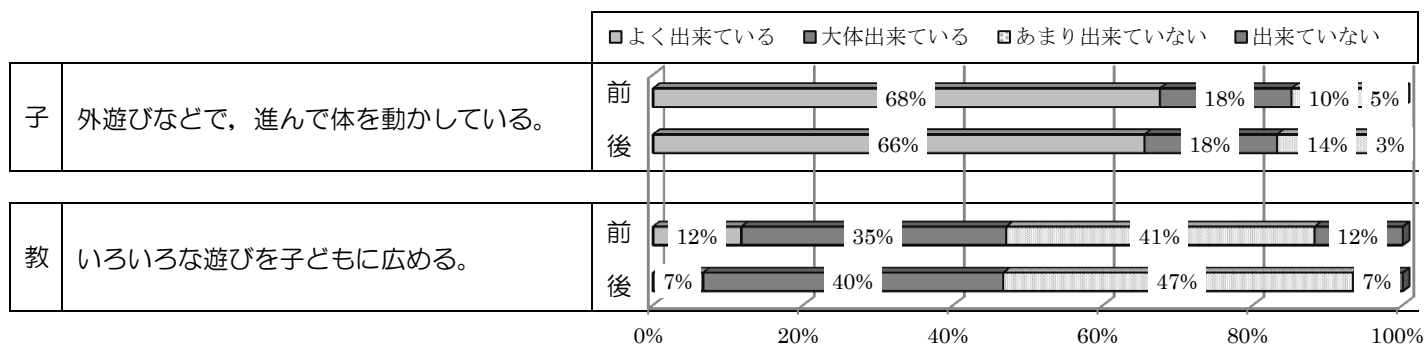
- <よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>
- よい行いについて、「なぜよいのか」ということもあわせて、みんなの前で伝えるようにした。
 - できていないことの注意よりも、できている子をほめること、価値づけることを意識して行った。
 - ほめている、気にかけているつもりでも、「自分ばかり叱られている」という思いを表す子もいる。
 - 「自分ばかり叱られている」と感じている子も、自分の行動を客観的に振り返ることができるように、よかった行動もそうでない行動も、子ども自身に「見える」ようにして伝えていく。

はきもの・あいさつ



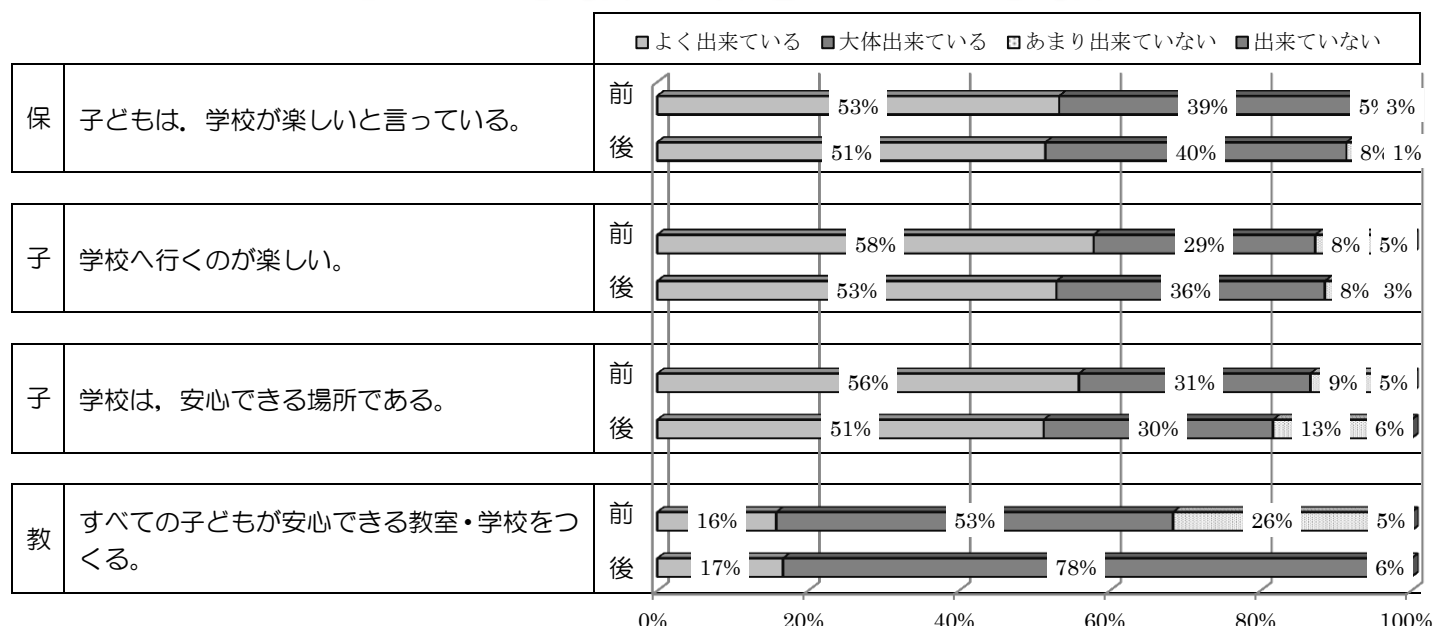
- <よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>
- 「はきものをそろえる」ことについて、教職員から子どもへの声かけを継続したことで、子どもたちが自分からはきものがそろっているかどうか見に行くようになった。
 - 「はきものがそろっている」状態を写真で見せたり、「はきものをそろえている」子の姿を写真で見せたりしたことで、揃っている状態を子どもたちもイメージしやすくなり、トイレのスリッパが揃うようになった。
 - はきものが乱れていることに気が付いた子たちが、他の子のはきものでも揃えるようになったり、図書室やランチルームなどに入るときに脱いだ靴をきれいに並べる子が増えたりした。
 - 教職員自身も、校内を歩いていてはきものが乱れていることに気が付いたら揃えるようになり、靴箱を意識して見るようになった。また、揃えている子をほめることができた。
 - 「はきものがそろっている」ときは、その日のうちに、その学級の子どもたちや担任に伝えるようにした。
 - 教師がお手本を見せられるように、子どもが登校してくるのを教室で迎えるようにした。
 - あいさつの後に、一言つけ加えるようにすると、子どもからもあいさつが返ってくるようになった。

外遊び



- <よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>
- 鬼ごっこの種類が増えるように、子どもたちに紹介して一緒に遊ぶようにした。
 - 休み時間は、できるだけ担任も運動場に出るようにした。

楽しい学校・安心できる学校



<よかったこと・続けていきたいこと（○）／ 困ったこと・問題点（●）／ 今後試していくこと（□）>

○ 言葉遣いについては、何かあるたびに指導してきて、多くの子が意識するようになってきた。

● 一方で、子どもどうしのきつい言葉がなくなる。

□ たてわり活動や他学年との交流を充実させ、子ども同士のつながりづくりをさらに重視する。子どもが活動を計画して進めていけるようなたてわり活動や交流を目指して、教職員は、充実のためのアイデアを出す。

自由記述から

ご多用の中、自由記述欄にもご意見をいただき、本当にありがとうございました。お答えできるものについては、個人懇談の場などでもお伝えしました。いただいたご意見も参考にして、今後の教育活動を進めてまいります。すべてを載せることはできませんが、いくつか、紹介します。

学習発表会について

「大きな成長を感じることができた」「子どもたち自身がやる気に満ちて、キラキラして、見ている親たちにも、学校での様子が伝わってくるようで、そのように導いてくださった先生方の力に、とても感謝」「一人一人が生き生きと堂々としていた」「学年全員が一丸となって作り出す独特の世界を見せて頂けた」「ずっと取り組まれてきたことの発表で、子ども達達成感を感じたように思う」等、たくさんのご意見をいただきました。

子どもたちの様子について

「下校時に車が通っている道で大きい学年の子が小さい学年の子『危ない！ストップ！』と声かけをしているところを見かけた」と、子どもたちのよいところを教えていただきました。ありがとうございます。

授業について

「参観を見ている中、楽しい授業展開をしていただいているのがよく分かる」「授業も大変わかりやすかつ面白く、児童一人一人をよくみてくれている」と、感謝の言葉をいただきました。

地域との連携について

「地域の学習、地域の方のお話を聞いたりすることで、松ヶ崎が好きになっているようです。貴重な経験をたくさんさせていただいているようで、ありがたいです」と、子どもの姿をもとにしたご意見をいただきました。

夏休みの自由課題の展示について

「夏休みの自由課題をどこかの教室等に展示し、我が子以外のお子達（他のクラスの子達）の作品を見られる機会等があるといい」という声をいただきました。特別教室を使用が難しい場合でも、階段や廊下の掲示スペースを活用して、少しでも交流の機会がもてると、子どもたちにとってもよいと考えています。